あんずの木

平成 30 年６月号　　NO.25

６月、あんずがスタートして丸２年が経ちました。また心新たに、日々臨んできたいと思います。「これがあんずテイスト！」と、子どもと向かい合う一瞬一瞬から、お母さんお父さんとお話する時間から、今後も感じとっていただければと思いますのでよろしくお願い致します。

子どもに向けてだけの支援なんてありません。その子には家族があり生活があります。私たちと出会う前からのご家族の軌跡があります。「子どもにとって」＆「ご家庭にとって」＝「親子にとって」のバランスを、スタッフ間ではいつも考え話し合っています。子どもは十人十色、家族も 10 家族 10 色。ひとりひとり違うのが“人”ですからね。ご家族の数だけのストーリーがあります。とはいえ、みんなで日々一緒に汗をかきながら、お互いを思いやり、子ども達のスキルアップや心の成長、生活の充実度をたくさん感じあえることができる時間、「こんな感じでいいですね」と共感できている日々は、満更ではないかなと思います。

今日も明日もその先も、笑顔と安心とガッツポーズで！　どうぞよろしくお願い致します。

―６月・７月の予定―

６月　７日（木）　ドクターＮの医療相談（14：00～16：00）
６月 15 日（金）　地域連携日（児童・放デイ共にお休みです）
６月 22 日（金）　ＳＴ（児童）
７月　４日（水）　地域連携日（児童・放デイ共にお休みです）
７月 17 日（火）　ＳＴ（児童）

＝お知らせ＝

≪さぽねっとまつりについて≫

年間行事予定で 10 月 27 日（土）の予定でお伝えしておりましたが、地域の行事等の都合で、10 月 20 日（土）に変更させていただきます。よろしくお願い致します。

なお、今年度も様々な企画を予定しております。詳細は順次お知らせします。その中で、人気企画として毎年ご好評いただいています“ハンドメイドコーナー”は、今回も行うことになっています。ハンドメイドグッズを出品して下さる方を８月になりましたら募集します。「出品したいな」「どんなものがいいの？」「どのくらい？」などなど、ご興味のある方は、事前に池田までお声かけください。よろしくお願いします!!

≪保菌検査のお願い≫

児童の子ども達と保護者の方々に保菌検査を行います。容器をお配りしますので、期日までに提出をお願いします。むずかしい場合はお申し出ください。尚、幼稚園保育所等と併用しているお子さんについては、そこでの検果を報告していただければ、検査の必要はありません。保護者の方も、最近検査を行っていましたら、結果の報告で大丈夫です。

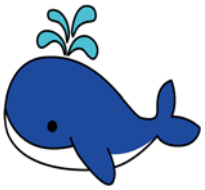
≪ドクターNの医療相談≫

埼玉医大総合医療センター小児科の奈倉道明先生による６月７日（木）は４枠全てにお申し込みがありました。次回は９月 27 日（木）になります。ご希望される方はお申し出ください。発達の専門ドクターとお話しできる貴重な時間ですので、積極的にご利用ください。不明な点がありましたら、遠慮なくお申し出ください。

≪自家用車利用の保護者の皆さんへ≫

＊児童発達支援の登降園の時間は、周辺の幼稚園や学校の子ども達の往来の時間と重なります。放デイのお迎えの時間は、薄暗くなっていて見通しがとても悪くなっています。
路地での徐行及び駐車場出入口での最徐行運転の順守、並びに指定場所内への車の駐車を、よろしくお願いします。

くじらクラスの５月あれこれ



活動が始まる前の時間、「あめふりくまのこ」の絵本の時間。
くじらクラスがスタートしてから、毎日変わらず、繰り返している時間です。
子ども達は、麦茶を飲みおえると、いつもの位置に椅子を上手に運んだり、ＣＤ歌を口ずさんだり、絵本を見ていたり。何をして遊ぶのか“知ってる”この時間を、思い思いに上手に過ごせるようになってきました。５月のお誕生日会では、きれいなシロフォンの音色で、「あめふりくまのこ」の演奏がありましたね♪知っている曲、知っている絵本に、グッと身体を向ける姿、“知ってる”を楽しんでいる姿が微笑ましかったです。
巧技台運動も、くじらクラスの定番のひとつ。５月は、はしごを傾斜させたことで、チャレンジするパワーが必要になりました。定番に少しずつスパイスを加えながら、
“くじら”らしく賑やかに、前進していこうと思います。

ペンギンクラスの５月あれこれ

ペンギンクラスもスタートから２か月が経過し、ドキドキの４月に比べて子ども達の表情がとても柔らかくなってきて、かわいい素敵な笑顔をたくさん見せてくれています♡
４月から継続している活動では、安心と期待の目がどんどん増している子どもたち。新しく入園した子も、継続の子も、活動や遊びの中で、それぞれステップアップしていることを感じる５月でした。
もうすぐ梅雨入り。ちょっと嫌な季節ですが、ペンギンクラス、ますます盛り上がっていきましょう。６月の歌は「カエルの歌」だケロッ♪

≪退職のお知らせ≫

児童担当の高橋真美が５月末で退職しました。
短い期間でしたが、ありがとうございました。

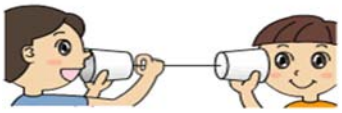
放デイのひとり言

５月、初めて『“糸電話” 作り』に取り組みました。紙コップの底の小さな穴にタコ糸を通し、竹ひごに結びます。指先で糸をつまみ、小さな穴をじっと見つめて、通そうとする真剣な顔。短い竹ひごに糸を結ぶことが難しくて怒り出す子。「手伝ってください」「教えてください」とSOS の出し方も自然と学びます。「やってあげるよ」「こうやるんだよ」とお助けマンになってくれるお友達も登場です。紙コップに名前を書いたり、絵を描いたり、色を塗ったりして完成。

完成したら遊びます！ピーンと糸を張らなくては聞こえません。コップを耳に当てて聞く人、口に当てて話す人を交互に行います。聞こえたからって、そこですぐに話し始めても、相手には聞こえません。“耳で聞く”“口で話す”ということを意識します。

音は見えないけれど、糸電話の音の出る道を見ることができました。不思議がいっぱい！身近な材料で遊びながら、

科学に触れた楽しい一コマでした。



保育所等訪問支援の５月あれこれ

５月は、あんずの児童発達支援と幼稚園保育所を併用している子ども達にも保育所等訪問支援を導入し始めたので、16 か所の幼稚園保育所、学童保育室にお邪魔させていただきました。もうみんなすっかり“今年のクラス”に馴染んでいて、“僕の遊び”“私の居場所”“私の先生”を、しっかりつかめているようです。担任の先生方のお話からもこの２ヶ月の歩みがわかります。そうなってくると、無駄な力や動きが少しずつ減ってきて、楽しいことにパワーを注げるようになってきます。これからですね、お友達や遊びの輪が広がり、活動や行事の経験を重ねていけるのは。子どもが落ち着いてきて、安定してきたベースには、子どもと担任の先生の間で日々培ってきた、「急がせないけれど、待ちすぎもしない」絶妙な“間合い”があります。まさに職人技です。過度な期待は子どもには負担ですが、小さな期待をひとつひとつ積み上げていってもいいなと思います。訪問では、子どもの姿を“今日”の生活で課題になっていることと対応を共有しあい、これからの行事や“少し先”を見据えての展望を話し合っていきます。

あちこちの園に向かう道、「今日はどんな姿かな～」と、

前かがみになってハンドルを握っていますよ。

☆お　礼☆

５月もお心遣いありがとうございます。放デイのおやつの時間で使う陶器をいくつもいただきました。お皿を割ってしまって気づくこともあり…、ちょうどストックがなくなっていたのでとても助かります。
子ども達が大好きなプラレールの連結器をいただきました。電車はつながってこそですから、子ども達も喜んでいます。その他にも、美味しいジャムや食器用洗剤等をいただきました。運営、支援に大切なものに気づいていただいて、本当にありがとうございます。大切に使わせていただきます。